

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別					現状（病床機能）①					指定・届出等					2025年（病床機能）② ※下段は現状との差（②-①）					機能変更あり（時期）	過剰な病床機能への転換	増床希望あり	2025年に向けた方針（抜粋）							
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟（病棟）	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期				回復期	慢性期	休棟	介護	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定（増床・減床を含む）	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定
鈴木病院	許可病床	54	71			125		54	71		125	○								54	71				125			在宅医療	なし	なし	
医療法人社団南浜会	稼働病床	54	71			125		54	71		125	告示・輪番								-	-	-	-	-	-						
鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院	許可病床		128			128					128					○									128			急性期と生活期を繋ぐ医療として回復期医療があり、この回復期を担う当院が地域包括ケアシステムの中心的な役割を果たしていかなければならないと考えている。その実践にあたっては急性期病院との連携や在宅復帰後のリハビリテーションケアの継続に向けて在宅を担う医療・介護サービス機関との連携など復帰後のフォローアップに対してのサポートも必要と考える。また、当院内においても通所リハ、訪問リハを始め在宅の拠点を設け訪問看護・介護、デイサービス、ショートステイを兼ねた施設運営を実施しており、地域に開かれた病院として今後も地域医療に貢献していきたいと考えている。	予定なし	予定なし	
社会福祉法人聖テレジア会	稼働病床		128			128					128									-	-	-	-	-	-						
小さき花の園	許可病床	72				72					72														72			・利用者の医療の高度化が進んでおり、ご家族の負担軽減のため通所事業や短期入所受け入れ、ニーズに応えられる診療機能体制。 ・児童相談所等と連携し、一人でも多くの医療・療育を必要とする長期入所希望者を受け入れ、人が人らしく生活できるよう援助していく。	特になし	特になし	
社会福祉法人聖テレジア会	稼働病床	72				72					72									-	-	-	-	-	-						
医療法人養生院 清川病院	許可病床	89	109			198		89	109		198	○								89	109				198			紹介、被紹介共に他病院との連携を強化していく。近隣のクリニック、在宅医療施設との連携を図り、スムーズな入院、退院を図る。三次救急病院から処置が終わっても直ぐに自宅に退院できない患者を積極的に受け入れ、地域の中心病院として活動していく。	予定なし。	予定なし。	
医療法人養生院	稼働病床	89	109			198		89	109		198	告示・輪番								-	-	-	-	-	-						
鎌倉ヒロ病院	許可病床	49	30			79		49	30		79	○								49	30				79			今後当院は「地域に密着した急性期・慢性期病院」として、高度急性期病院では受け入れ困難な高齢者救急を含めた救急要請に対し、基本的に応需していかなければならない立場の病院であると考えている。また近隣急性期病院のバックベッドの役割も担っていかねばならないと考えている。			
医療法人光陽会	稼働病床	49	30			79		49	30		79									-	-	-	-	-	-						
一般財団法人 鎌倉病院	許可病床	67	18			85		34	33		85	○								48	59				107			3年後を目標に、現在地での病院建て替え計画をしている。建て替え後は、現在の許可病床85床から107床へ、一般病棟12床、地域包括28床増床し、手術室も現状1室のところを2室へ増やし、現状受け入れが難しくなっているケースや、入院時期が先延ばしになっているケースなども受け入れ可能にする体制を強化して行く。		現状の、整形外科、内科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科の機能を維持更に強化して行く。	
一般財団法人 鎌倉病院	稼働病床	67	18			85		34	33		85	告示・輪番								-	+14	+26	-	△18	-	+22					
医療法人湘和会 湘南記念病院	許可病床	100	61			161		50	74	37	161	○								50	74	37			161			今後も継続して地域の求める回復期病床機能の拡充に努める。また、緩和ケア病床機能について取り組んでいる機関がないことから、検討のひとつに挙げていく。救急体制について、3次救急医療およびそれと同等の医療を提供する機関の対応患者の多くが軽傷である現状を踏まえ、当院の2次救急医療の充実を図る。また、在宅医療の拡充に努める。		特になし	
医療法人湘和会	稼働病床	100	61			161		50	74	37	161	告示・輪番								-	-	-	-	-	-						
医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院	許可病床	619				619	619				619	○								648					648			二次医療圏が縦に長く分断されているイメージがあるため、患者の流動を考慮し、ポストアキュートやサブアキュート等へのスムーズな連携を他院と図り、地域で完結するように努める。また、外傷センター、先端医療（先進医療）センター、包括的がんセンターを設立し、広域急性期病院を目指す。		2020年度に、陽子線治療器、トモセラピー（追加設置）、PET-CT、PET-MRIなどの検査機器を完備するがん疾患の放射線治療に特化した施設を増築し、包括的がん治療センターの設立を計画している。2021年度には、救命センター・外傷センターの機能を拡充する計画である。救命エリアは面積を拡張し高度治療を可能とする環境整備を行う。外傷エリアについては、手術室を3室から5室に増設し、病床も56床から15床増床し再編成をする。併せて、ICU10床を増設する計画である。（ICU病床：16床 精神科病床：10床 ICU病床：8床⇒12床 救命救急病床：20床 NICU病床：6床）	
医療法人沖繩徳洲会	稼働病床	619				619	619				619									+29	-	-	-	-	+29			高度急性期（+29） H27配分済			
医療法人社団則天会 退子病院	許可病床	36				36					36									40					40			2022年頃 急性期（+40） 2022年頃	2022年頃に40床程度の介護医療院を新設する計画と既存の病院（36床）も建て替える計画がある。	特に予定なし	
医療法人社団則天会	稼働病床	36				36					36									-	+40	-	△36	-	+4						
医療法人社団柏信会 青木病院	許可病床		97			97					97														97			慢性期における長期療養に強みのある病院。今後は、訪問看護をはじめとする医療専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・薬剤師）等の連携により地域医療を充実させ、在宅医療にシームレスに対応できるような機能を持ち、地域の方々の健康な生活を支えていく。		・当院は、認知症対応力向上研修の修了看護師が多数在籍している。原疾患に加えて認知症で苦慮されているご家族の負担を軽減するため、積極的にご家族との連携を深め、知識・方法などを共有する。 ・1～2年後くらいから、段階的に、病棟内整備及び機能変更を計画している。	
医療法人社団柏信会	稼働病床		97			97					97									-	-	+23	△23	-	-			2019年以降			

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別					現状（病床機能）①					指定・届出等					2025年（病床機能）② ※下段は現状との差（②-①）					機能 変更あり（時期）	過剰な 病床機能 への転換	増床 希望あり	2025年に向けた方針（抜粋）								
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟（病棟）	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期				回復期	慢性期	休棟	介護	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定（増床・減床を含む）	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定	
医療法人沖縄徳洲会葉山ハートセンター	許可病床	89				89	83			6	89	○								89					89	●	●	●	返葉地区の急性期病院として、内科系入院の受け入れ、救急患者の受け入れを更に強化していく。	今後はスタッフの確保に努めて2025年までには休棟中の6床を開床する予定。	診療科については、医師採用次第では診療科の追加等を考えていますが予定時期などは未定。	
医療法人沖縄徳洲会	稼働病床	83				83	83				83	告示								-	+6	-	-	△6	-	-	急性期(+6)					
横須賀市立うわまち病院	許可病床	367	50			417	127	190	50	50	417	○				○				142	199	109			450	●	●	●	うわまち病院は、高度急性期から回復期までを担っており、小児救急を含む救急医療、周産期医療のほか、在宅療養後方支援病院として在宅患者の受け入れにも対応している。また、回復期リハビリテーション病棟を有し、地域包括ケアシステムの一翼を担っている。新病院においても引き続きこれらの機能を担い、小児医療については、現状市民病院からうわまち病院に機能集約しているメリットを生かし、新生児期以降の小児重症患者へのより充実した対応を図る。	うわまち病院の現在の病床数と2025年（新病院）の予定病床数 高度急性期 127床→142床（+15床） 急性期 190床→199床（+9床） 回復期 50床→109床（+59床） 慢性期 50床→0床（△50床） 合計 417床→450床（+33床）		
横須賀市	稼働病床	337	50			387	127	160	50	50	387			(100床)						+15	+9	+59	△50	-	+33	2025年 高度急性期(+15)、急性期(+6)				市立2病院を一体として考え、市立2病院合計の高度急性期、急性期病床数は、2025年以降も現在の病床数と同じとする。回復期、慢性期病床は、地域の医療提供体制や医療需要を鑑み、市立2病院合計で減とする。予定時期は新病院開院予定の2025年度（平成37年度）とする。		
横須賀市立市民病院	許可病床	476			6	482	84	256	95	41	476	○		○	○	○				69	247	68			384	●			市民病院は、高度急性期から回復期までを担っており、在宅療養後方支援病院として在宅患者の受け入れにも対応している。また、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟を有し、地域包括ケアシステムの一翼を担っている。今後も引き続きこれらの機能を担う。また、三浦半島西側で、くも膜下出血の搬送時間が他の地域よりも時間を要する60分圏内エリアとなっていることから、医師の確保等により脳卒中患者の受け入れ体制拡充を図る。	市民病院の現在の病床数と2025年の予定病床数 高度急性期 84床→69床（△15床） 急性期 256床→247床（△9床） 回復期 95床→68床（△27床） 慢性期 0床→0床 休棟 41床→0床（△41床） 合計 476床→384床（△92床） （他に感染症病床6床あり）		
横須賀市	稼働病床	356			6	362	66	222	68		356			(34床)	(34床)					△15	△9	△27	-	△41	-	△92	2025年				市立2病院を一体として考え、市立2病院合計の高度急性期、急性期病床数は、2025年以降も現在の病床数と同じとする。回復期、慢性期病床は、地域の医療提供体制や医療需要を鑑み、市立2病院合計で減とする。予定時期は新病院開院予定の2025年度（平成37年度）とする。	
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター	許可病床	86		246		332			45	41	86											45	41		86				○アルコール依存症・その他依存症 依存症全国拠点病院として構想区域内のみならず全国に医療を提供する機能を維持する。 ○一般精神 専門的な外来診療及び急性期治療を中心とした入院診療の提供を地域にて行う。 ○認知症 アルコール関連認知症の外来・入院治療及び認知症全般に関するの外来を中心とした早期診断・治療を行い地域における認知症治療疾患医療センターとして役割を果たす。		2017～2018年度 自施設の役割について地域医療構想調整会議等において関係者と協議、協議の結果を踏まえ具体的な病床計画を策定	
独立行政法人国立病院機構	稼働病床	45		246		291			45		45									-	-	-	-	-	-							
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	許可病床	730		10		740	634	96			730	○								634	96				730				当院は構想区域の基幹病院かつ公的病院であることから、国の医療施策における主要項目である5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）、4事業※1（救急医療、災害時における医療、周産期医療、小児救急医療を含む小児医療、※1へき地医療には該当しない）に係る医療提供体制を中心に、今後も診療機能を維持、向上させなければならないと考える。また、地域の基幹病院として、機能分化とネットワーク化を推進し、途切れることなく将来にわたり持続可能な地域完結型医療提供体制の構築を推進する役割があると考える。	2017年度 集中治療部門及び周産期医療提供体制の拡充 2018年度 PFMの拡充 2019～2020年度 周産期医療提供体制の拡充、集中治療部門の拡充		
国家公務員共済組合連合会	稼働病床	689		10		699	609	80			689									-	-	-	-	-	-							
三浦市立病院	許可病床	136				136	96	40			136	○		○	○														引き続き、二次救急の機能を保持し、地域医療構想における横須賀・三浦構想区域内の心筋梗塞や脳卒中などの専門性の高い治療を行う超急性期病院などとのシームレスな連携を維持、発展させ、患者が速やかにかつ適切な医療が受けられるよう、努めます。 関係機関との連携基盤を確固たるものにするため、引き続き、関係機関との連携を推進し、積極的な紹介患者の受け入れ、患者の心身ともに安楽な退院ができるような退院支援等に努めます。	2017年度 地域包括ケア病床増床の検討 2018年度 地域包括ケア病床増床の施設基準の届出（28床からH30.4.1より40床へ）	高齢者の増加も予想され、在宅での療養や看取りを希望する患者や家族のニーズに対応できるよう、在宅医療の充実に係る取組みの検討。 医療に係る訪問看護を年数回実施しているが、地域の医療及び介護に係る訪問看護のニーズを把握し、実施回数を増やせるよう人材確保と併せて、今後の業務の方向性を検討。	
三浦市	稼働病床	136				136	96	40			136	告示・輪番		(40床)																		
横須賀・三浦計	許可病床	####	####	376	0	6####	1,464	####	693	1,046	300	####	18	1	8	7	7	3	####	####	921	971	41	0	5,075							
	稼働病床	####	####	376	0	6####	1,421	####	646	981	0	####		(20床)	(366床)	(378床)				+29	+79	+268	△75	△259	-	+42						